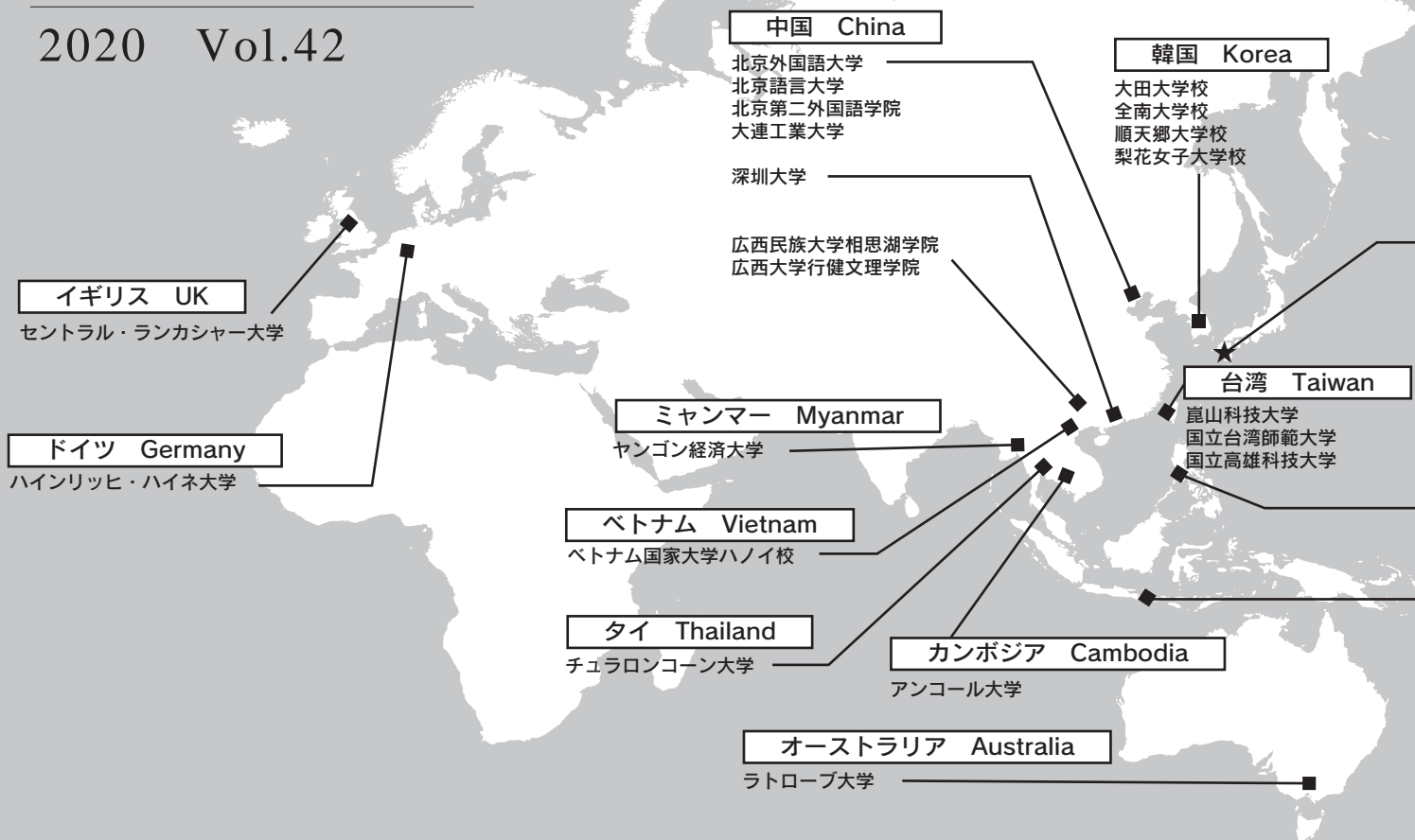


国際交流レター

International Exchange Letter

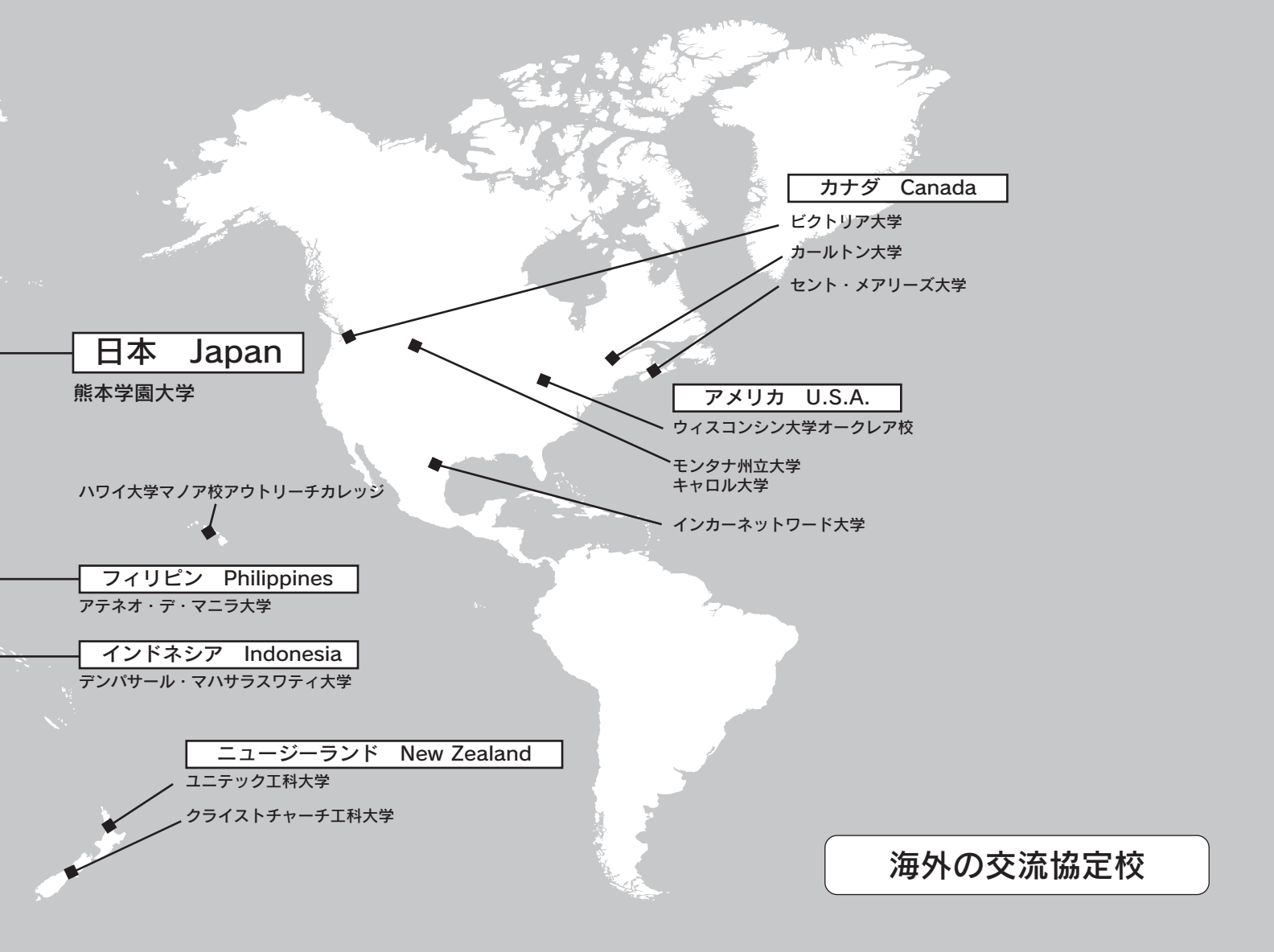
2020 vol.42





目次

| | | |
|---------|---|---|
| 巻頭言 | 学長 細江 守紀 国際交流委員長 向井 洋子 | 2 |
| TOPICS | 「オンライン留学サロン」開催しました コロナ禍における国際交流 | 4 |
| 交換留学体験記 | Lorna Chapa (経済学科 2年) Laura Burton (経済学科 3年) 黎 涛 (商学科 3年) 凌 彬期 (商学科 3年) 李 力行 (商学科 3年) 白石 稀美華 (英米学科 4年) 大村 真由 (英米学科 4年) 星原 朋華 (英米学科 4年) 平川 裕樹 (英米学科 4年) 徳山 由佳 (東アジア学科 4年) 本田 桜陽 (東アジア学科令和元年度卒業) 吉里 阿佐子 (東アジア学科 4年) 田山 楓望 (東アジア学科 4年) | 6 |



短期認定留学体験記

12

- 田中 美世 (第一部社会福祉学科 2年)
 永満 叶夢 (商学科 3年)
 徳永 のぞみ (ホスピタリティ・マネジメント学科 3年)
 長岡 胡桃 (英米学科 2年)
 田崎 瑠唯 (英米学科 4年)

熊本学園大学国際交流会館

15

- 浦 ちさと (ホスピタリティ・マネジメント学科 2年)
 原 伸一 (国際交流会館職員)

国際交流の窓

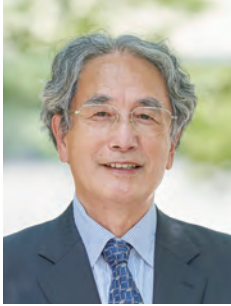
16

- 学園大で学ぶ私費外国人留学生を紹介します。
- 華 棋涛 (商学科 1年)
 王 源璞 (ホスピタリティ・マネジメント学科 1年)

DATA

17

- 令和 2 (2020) 年 海外往来実績及びコロナ禍での国際交流の動き
 令和 2 (2020) 年度 研修団往来、海外への派遣学生数
 令和 2 (2020) 年度 出身国・地域別外国人留学生数、留学生の主な参加行事



私の国際交流

ほそえ もりき
学長 細江 守紀

私の初めての国際交流といえるものは中学校のときの体験かもしれません。博多港に近い下町の商店街で実家が呉服屋を営んでいたのですが、ある日、数人の白人の水兵が店に来たのです。あとでわかったのですが、博多港に豪州の艦船が寄港したようでした。彼らはワイワイ言いながら、土足のまま畳に上がってきました。二階にいる私に母が声をかけたので、事態を飲み込んだ私は野球のバットを持って下に降りていき、「ストップ!」と叫びました。男たちは、背中にバットを隠した私を見て「オオッ」と言って笑いながらあれこれ言って去って行きました。着物が美しいからと無邪気に店へ入ってきたのかもしれませんが、土足だったのでこちらとしてはびっくりしました。当時の社会情勢のなかで、下町では外国人を見ることなく暮らしていましたので、突然現れた異邦人の行動に対して恐れを抱いたのでしょう。いま考えると笑いごとのようですが、お互いに正しい情報を共有しないと、事の大小にかかわらずこのようなケースは起こり得ることだと思います。ささやかな国際交流となりました。

国際交流のついでに英語教育について話しましょう。高校時代の英語の先生は御多分にもれず、和製英語での発音がひどく、travelを“ツラベル”、trainを“ツレイン”、thisを“ジス”と発音する先生でしたが、それでも入試には差支えはありませんでした。おかげで、大学で初めてネイティブの英語の先生から教わって、最初の時間に“イズ ディス ユアーズ?”と質問されたとき意味が全然わかりませんでした。それに対して、日本人の英語の先生による、オデッセウスについての英文の和訳の時間はとても面白く、理解することができました。現在の高校や大学ではネイティブの語学の先生やネイティブに近い発音のできる日本人の先生が多くいますので、皆さんの場合は無用のコミュニケーションギャップは起こらないと思います。本学でも英語、韓国語、中国語のネイティブの先生方がたくさんい

らっしゃいますので、外国語習熟の機会は格段に恵まれています。また、大学時代に海外に留学するチャンスは様々な形であり、本学も支援をしています。

現在、大変親しくしている海外の研究者はエリック・ラスムセン教授（インディアナ大学）で、1983年に私が米国ハーバード大学に留学していたときセミナーで知り合いになり、彼の *Games and information: an introduction to game theory*, 1989 Blackwell Publishers. を日本語翻訳しました。その後、共同研究者として日本に招待し、インディアナ大学に私が訪問教授として行っています。また、同じく1983年の米国留学のとき知り合ったソウル大学の Sheung Hoon Lee 教授とも親しくさせていただいています。彼は産業組織論の研究者で、お互いに研究の支援を行ってきています。2016年にはアジア法と経済学会の会長に就任した関係で、多くの東アジアの研究者と知り合いになり、研究の幅が大いに広がりました。

先ほども述べたように私達の学生時代に比べると外国語と接触する機会は格段に広がり、留学のチャンスも多くなりました。国際交流は自分を知るうえでまた自分を成長させる意味で大変有意義なものです。本学は多くの外国語をネイティブとする先生方が多く、その意味で国際交流を進めていくチャンスが大変多いと思います。ただ、本学で学んでいる海外からの留学生数は35名ですが、これは本学の在学生数の割に少ない数です。また、西日本の各大学と比べても留学生数が少ないことは歴然としています。多様な学生が集うキャンパス、異文化の学生が集うキャンパスでの学生生活を送ることの重要性を考えると、大変物足りない数字です。様々な国の学生を受け入れることは、今後のグローバルな人材を育てていくためにも不可欠なことです。現在、コロナ禍にありますが、この点を改善していく必要があると思います。



コロナ禍の国際交流と情報発信

国際交流委員長 ^{むかい} 向井 ^{ようこ} 洋子

新型コロナウイルスへの対応ではじまった2020年は、これまでの経験が通用しない「未知との遭遇」であった。そんななか、4月から国際交流委員長を拝命し、ウィズ・コロナあるいはアフター・コロナでどのように国際交流をすすめるのかという大きな課題をいただいた。

この大きな課題に対し、2020～2021年度の国際交流委員で議論をはじめ、国際交流の「質」を高める方向での合意ができた。すなわち、本学での語学の基礎教育をふまえ、協定校の正規課程で単位取得する学生を増やすことである。

具体的にどうするのか。語学は「訓練」なので、自主的に学ぶ機会と学習時間を増やせばよい。ただし、どのようにして自主的に語学を学ぶ機会を作るのが難問であった。そこへコロナ禍がやってきたのである。

新学期がはじまったばかりの2020年4月7日、安倍晋三総理大臣（当時）から新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出された。これにより、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県では学校の休校など、様々な措置がとられた。熊本学園大学では、5月6日まで休校とし、5月7日から5月31日を遠隔授業のみ、6月1日から受講生の数により対面式授業を再開した。

これらの措置により、ICTを用いたコミュニケーションに抵抗がなくなった方が増えたことは間違いない。たとえば、会議に参加できなかったとしても、Zoom, Meet, Webexといった遠隔会議システムを併用した会議を実施することが可能になった。同様に、新学期の学生面談も、遠隔会議システムで実施することもできた。さらに、これらのシステムを使ってLive Streamingの授業を行う教員もあらわれた。

こうした授業実施は本学だけではなく、国際交流の実務者から、遠隔会議システムを使って国際交流を行うというアイデアがでてきた。そのパターンは2つある。

第1に、本学の協定校が提供する語学学校にオンライン参加するというものである。これはハワイ大学マノア校のプログラムであった。ハワイ時間の夜かつ日本時間の朝に組まれた90分のプログラムで、英会話の基本的なパターンを練習したあと、3～4人の受講生にハワイ大学の学生1名が参加する形でのフリートークの時間が設定された。

第2に、本学の協定校の学生とのZoomを使った週1回程度の英語による交流である。これはイギリスのセントラル・ランカシャー大学からの提案であり、現在、詳細を打ち合わせているところである。

これら2つのアイデアはいずれも素晴らしいものだが、現地との時差が問題となっている。時差の問題を乗り越えるには、オンデマンド配信のコンテンツにするという方法があるが、オンデマンド配信に耐えられるコンテンツ作成には、手間がかかり、作成する時間が足りないという問題がある。

そこで、熊本学園大学国際教育課では、当面ウェブサイトとSNSで情報発信を強化することにした。以下にリンクを示したので、ぜひアクセスしていただき、フォロー、シェア、いいねをお願い申し上げたい。

国際教育課ウェブサイト

<https://www.kumagaku.ac.jp/office/kokko/>

国際教育課 Facebook

<https://www.facebook.com/kumagakukokko>

国際教育課 Instagram

<https://www.instagram.com/ipkgu/>

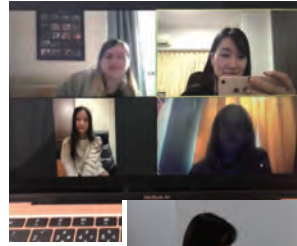


TOPICS : 「オンライン留学サロン」開催しました

セントラル・ランカシャー大学 (UCLan) の学生との交流

2021年1月24日と29日、本学学生とUCLanの学生との「オンライン留学サロン」を開催しました。参加学生は2グループに分かれ、それぞれオンラインZoomミーティングを通じて交流しました。時差により、日本時間午後7時とイギリス時間午前10時で開催を調整。当日は、自己紹介から始まり、コロナ禍における学生生活や趣味について等、自由なテーマでディスカッションしました。

本学の参加者からは、「英語を使える良い機会になった」「オンライン上ではあったがお互いの表情や声が変わり、有意義で楽しい交流になった」等の感想が聞かれました。



←オンライン留学サロンの様子

↓開催に向けての打ち合わせの様子



ハインリッヒ・ハイネ大学 (HHU) の学生との交流

2021年2月17日、本学の社会福祉学部においてHHUへの令和3年度交換留学が内定している学生2名が参加しました。HHUからの参加学生の一人が令和3年度交換留学生として本学に来日予定であることから、お互いの大学紹介から始まり、デュッセルドルフと熊本の特徴について紹介し合いました。さらに留学が実現したら挑戦してみたいことについても話が及び

ました。

参加した本学学生からは、「使用した言語は日本語、英語、ドイツ語だったが、相手の日本語の上手さに驚いた。次回までになるべくドイツ語を喋れるようになりたいし、ドイツの文化やマナーについてももっと知りたくなった」「留学への不安より、楽しみが大きくなった」等の感想がありました。

崑山科技大学 (KSU) ・高雄科技大学 (NKUST) の学生との交流

2021年2月24日、KSUとNKUSTの学生と、中国語と日本語による約1時間の交流を行いました。取り上げたテーマは自己紹介、趣味、お正月をどう過ごしたか、コロナ禍における大学生生活について等でした。

参加した学生からは、「大学で学んでいる中国語がどこまで通用するのか試してみる良い機会になった」「中国語を聞き取れない箇所や、うまく伝わらないこともあったが、日本語で教えてもらいながら、お互いに文化の違いについて理解を深めることができたと思う」等の交流の成果が報告されました。



日本語を話そう！オンラインKAIKAN同窓会を開催しました！

2021年3月5日、2019年から2020年に本学に交換留学生としてやってきた留学生たち6カ国・地域10名と本学の日本人学生で当時レジデント・アシスタントであった3名の計13名が参加しました。

レジデント・アシスタントは、2019年に本格始動しました。来日する留学生にとって、会館で留学生と一緒に暮らしながら生活全般のサポートを行う彼らの存在はとて大きなものです。2019年は近年でも特に交換留学生の受入れが多く、入居者同士の交流が活発で、互いに親交を深めた年でもありました。

今年3月に当時のレジデント・アシスタントのうちの2名が卒業することから、オンラインでの同窓会を

決行しました。日本時間で正午からの約1時間でしたが、時差をもとめせず、久しぶりの再会を互いに喜び、話は尽きませんでした。



当日参加してくれた皆さん、ありがとうございました！



「オンライン留学サロン」はコロナ禍で人の往来ができない中、ZoomミーティングやSNS等を利用して留学疑似体験の機会や国際交流の場をもとと計画したものです。学生にとって国際交流がもっと身近なものになるよう本学の交流協定校15カ国・地域33大学とのネットワークを活用したオンライン交流をこれから更に広げていきます。



2020年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、予定していた国際交流プログラムは中止や計画の変更を余儀なくされました。

海外への派遣では、前年度から派遣を開始していた交換留学生や2月に出発したばかりの交換留学生及び短期認定留学生など14名に帰国命令及び帰国要請を発令することになりました。その後も学部が実施する海外研修等のプログラムや交換教員の派遣も相次いで中止となりました。海外からの受入れは、春学期は3カ国・地域から9名、秋学期は7カ国・地域から14名の交換留学生及び学部研究留学生の来日ができませんでした。



令和元年度派遣交換留学生
帰国報告の撮影の様子

学内外で計画されていた国際交流イベントについても従来通りの実施は厳しいものとなりました。本学では、幸いにも4月に11名の私費外国人留学生を新たに迎えることができましたが、残念ながら恒例の歓迎会を実施することはできませんでした。コロナ収束後には彼らの歓迎会を計画・実施する予定です。

また、交換留学から帰国した学生による留学報告会は、新たな試みとして、報告の様子を動画に撮影し、YouTubeを通じて発信しました。

海外の協定校との交流では、韓国・大田大学の開学40周年記念や全南大学の新総長就任、台湾・高雄科技大学3周年記念に際して、現地への訪問はかかないまでも、本学園目黒理事長及び本学細江学長より

動画による祝賀メッセージを送るなど、友好関係の維持と発展につながる交流を行いました。

コロナ禍における国際交流は、ICTを活用した交流や発信にシフトしています。今後本学の国際交流を進化、発展させるために、オンラインでの展開を含めて学生たちの国際交流の場を創出していきたいと思います。

日本での感染状況が深刻になり始めた頃、マスク不足やアルバイトができない留学生を案じて、交流団体や卒業生からマスクや食料品等の支援物資が届きました。

コロナ禍の1年が経過した現在でも、ありがたいことに地元の企業・団体から温かい支援を継続していただいております。ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

留学生のために届けられた支援物資



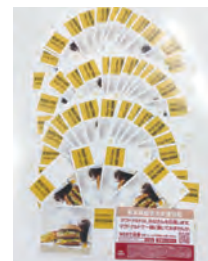
↑ 熊本県日中協会・熊本県日韓親善協会を通じて届いた支援物資



株式会社えがお様より



韓国・大田大学開学40周年記念
理事長・学長からの祝賀動画メッセージ



← 日本マクドナルド熊本県フランチャイジーオーナー会様より

【オンラインによる国際交流活動】

令和2年

- 6月18日 アメリカ・トロイ大学担当者とのオンライン会議
- 7月6日 日本語学校久留米ゼミナールとのオンライン大学説明会
- 10月18日 学モン都市クマモト オンライン進学相談会
- 10月20日 韓国・大田大学開学40周年記念 理事長・学長からの祝賀動画メッセージ送付
- 10月22日 令和元年度派遣交換留学生の帰国報告動画配信開始
- 11月15日 台湾・高雄科技大学3周年記念 学長からの祝賀動画メッセージ送付
- 11月20日 英国・セントラル・ランカシャー大学とのメールを通じたお友達交流開始
- 11月28日 熊本市国際交流振興事業団主催コラボカフェ「留学生と話そう・タイ編」講師 ジョラドン・チャノンさん（商学部商学科2年）

令和3年

- 1月27日 韓国・全南大学新総長就任 学長からの祝賀動画メッセージ送付

【オンライン留学サロン】

令和3年

- 1月24日、29日 英国・セントラル・ランカシャー大学との交流
- 2月17日 ドイツ・ハインリッヒ・ハイネ大学との交流
- 2月22～28日 中国・深圳大学との交流
- 2月24日～随時開催 台湾・崑山科技大学との交流
- 3月10日～随時開催 台湾・高雄技師学院との交流
- 3月24日～随時開催 韓国・大田大学校との交流
- 3月26日 ベトナム・ベトナム国家大学・ハノイ校との交流
- 3月29日 タイ・チュラロンコン大学との交流

次年度以降の交流計画

中国・北京第二外国語学院との交流



熊本学園大学での留学生活

ローナ チャパ
Lorna Chapa

【2019年9月～2020年3月
アメリカ・インカーネットワード大学からの交換留学生】

2019年8月から2020年3月まで私は日本に住んでいました。他の交換留学生と一緒に寮に住んでいました。そして熊本学園大学で日本語を勉強しました。先生も学生もとても優しく、たくさん友達ことができました。私はクラスメイトと一緒にたくさん素敵な所に行きました。まず阿蘇山と黒川温泉に行きました。静かで快適なので、私は温泉が大好きです。次に長崎に行きました。長崎では美味しいものをたくさん食べて、ランタンフェスティバルを見ました。本当に綺麗でした。最後にフェリーで韓国・釜山に行きました。ショッピングモールに買い物に行って、屋台の食べ物を食べました。

12月に私は塾で英語の先生の助手のアルバイトをしました。その子供たちはとてもかわいくて面

白かったです。私はルームメイトのリディアとローラと一緒に街によく行きました。私たちは買い物をして夕食を食べるのが好きでした。時々カラオケ、ボウリング、バッティングセンターに行きました。毎週水曜日はお互いに母国語を教え合い、そこでは文化の違いも学びました。1月には成人式を経験しました。友人が花束をくれて、とても嬉しかったです。日本での時間は良かったです。いつかまた友達に会いに日本に行きたいと思っています。



成人式にて（筆者は前列左から2番目）

熊本学園大学の留学生活

ローラ バートン
Laura Burton

【2019年9月～2020年8月
カナダ・セント・メアリーズ大学からの交換留学生】

2019年9月、私は留学生として日本に行きました。カナダを離れるのは初めて、一人暮らしも初めてでした。最初はカナダが恋しかったのですが、昔から日本に行きたかったので、すぐに留学生活が楽しくなりました。寮の友達や大学で出会った友達は本当に優しく、自分だけでは見つけられない熊本の様々な場所を見せてくれました。世界中から来た留学生とも友達になりました。みんなのお陰で日本の生活が楽しくなり、熊本での生活に慣れました。

熊本学園大学の授業は楽しくて、日本の学生と一緒に旅行をしました。その旅行で、熊本の歴史についてたくさん学びました。日本語の授業は難しかったですが、漢字や作文は私にとって楽しくて、日本語が少しずつ上手になっていくのが嬉しかったです。

カナダから家族が来日してくれた時も、日本にい

る友達と一緒に旅行した時も、日本中のたくさんの場所を見ることができました。福岡、大阪、京都、東京などたくさんの場所の景色や文化を見ることができました。ずっと見たかったので、とても嬉しかったです。

熊本に留学している間に、熊本は第二の故郷のようになりました。留学中に築いた友情は、世界中どこにいようと変わりません。熊本に早く帰りたいです。



マステン先生の授業にて水俣へ（筆者は前列右端）

私の留学生活

レイ トウ
黎 涛

【2019年9月～2020年8月
中国・広西民族大学相思湖学院からの交換留学生】

2019年9月、日本に来ました。外国に行くのは初めてでした。とても楽しかったです。すべてのことが私にとって新鮮でした。国際交流会館の皆さんは親切に歓迎してくれました。一緒にスーパーへ買い物に行きました。私達を歓迎するため、パーティーが開かれました。

新入留学生のための防災オリエンテーションでは、先生の案内により、熊本市消防局を見学しました。消防署の中の災害シミュレータが面白かったです。

2019年10月、熊本城が再開されました。皆と一緒に熊本城を見に行きました。熊本城はいいですね。こんなにひどい災害に遭っても、倒れず、まるで被災していないかのように立派な姿を見せてくれました。

2019年11月、阿蘇火山に旅行に行きました。阿蘇山の風景は本当に素晴らしいです。

2019年12月、熊本のビール工場を見学しました。工場の生ビールを飲んでみました。とても美味しかったです。缶に入っているビールより美味しかったです。他にも茶道と陶器の作り方も学びました。

2020年1月、友達と福岡に旅行に行きました。マズデン先生と一緒に長崎に行って原爆資料館を見学しました。長崎の中華街には美味しいものがたくさんありました。

2020年2月、友達と東京に旅行に行きました。スカイツリーに登りました。スカイツリーが高く、夜の東京はとても綺麗でした。

2020年7月、水俣市の水俣病の発生地を見学しました。

2020年8月、留学生活が終わりました。日本で留学したこの一年間、多くの友達と出会い、新しいことをたくさん体験できました。必ずまた日本に行きます。



長崎のゼミ旅行（筆者は右端）

留学の旅

リョウ ヒンキ
凌 彬期

【2019年9月～2020年8月
中国・広西民族大学相思湖学院からの交換留学生】

2019年9月に初めて日本に来ました。日本に来たのは初めてなので、日本の生活習慣や学習方法などにぜんぜん慣れませんでした。しかし、留学した一年の間で友達と先生に助けられて、たくさんのことを克服することができました。

一年前、日本に来たばかりの時、日本語で交流することがうまく行きませんでした。生活習慣も本当に少しずつ慣れていく感じでした。この一年間の勉強の中で、日本語が上手になりました。来たばかりの時は日本語が上手ではないため、コミュニケーションに自信がなかったのですが、だんだんと人とコミュニケーションを取ることができるようになりました。これは友達と先生のお陰です。心から感謝しています。授業中、先生は私達に知識を教えるだけでなく、私達と交流し、自分で言葉を組み立てて自分の考えを表現させました。平日は日本のニュース

をたくさん見て、日本の文化と言葉をよく理解できるようになりました。

この一年間の留学生活の中で、日本人や他の国から来た留学生と交流することによって、日本語が上達し、他の国の文化も分かりました。休みの時、先生は長崎を案内してくれました。

日本で食べた中華料理は中国国内の中華料理と違う気がします。留学中に友達と東京へ遊びに行きました。東京では、日本が発展していることをすごく実感しました。日本各地の文化や習慣についてより深く理解できました。



新入交換留学生歓迎会（筆者は後列中央）



楽しさと残念が共存する一年

リキ コウ
李 力行

【2019年9月～2020年8月
中国・広西民族大学相思湖学院からの交換留学生】

私は2019年の秋に日本にきました。家からこんなに遠く離れた所に来るのは初めてでした。私にとって海外に出たのも初めてで、何もかも新鮮でした。環境も違うし、文化や秩序も違うし、言葉も違います。以前テレビで日本の様子を見たことがありますが、実際に体感してみるとやはりイメージと違いました。

寮の友達は皆違う国から来ました。皆優しい人です。寮の管理人さんたちも親切で、付き合いやすいです。学校の先生方も丁寧で、いろいろお世話になりました。自分で料理するのが好きなので、寮にはキッチンがあり、自炊は楽しかったです。

冬に一人で北海道に旅行に行きました。一人で旅行に行くのは初めてでした。初めて自分でホテルを予約して、自分で旅行のルートを計画して、見知らぬ都市を旅行しました。すごく貴重な思い出になりました。日本語はあまり上手ではないため、何を話せばいいかわからない時、翻訳アプリを使って人と交流すること

ができました。

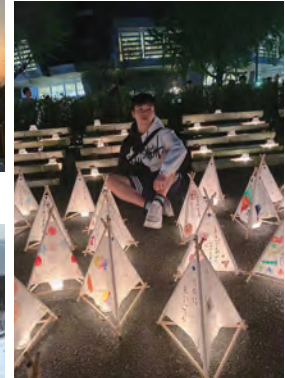
2020年5月のゴールデンウィークと夏休みには、もともと東京と大阪に遊びに行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でこの計画は行き詰まりました。この一年は楽しいこともあれば、残念なこともありました。また機会があったら日本にもう一度行きたいと思います。



↑室蘭地球岬



↑銭函のスキイ場



↑熊本暮らし人まつり
「みずあかり」

かけがえのない経験

しらいし きみか
白石 稀美華

【2019年8月～2020年3月
アメリカ・モンタナ州立大学へ交換留学】

高校生の頃から、留学に憧れていました。英語が好きだったことと、初めて行く場所で色々な新しいことを吸収したいと思ったからです。モンタナに留学できたことは、私にとってかけがえのない経験になりました。

留学中に大切だと感じたことは、行動力を持つことです。初めのころは友達ができずに不安な気持ちでいっぱいでしたが、寮で同じフロアの子に思いきって話しかけてみたところ、とても仲良くなることができ、冬休みは家に2週間ほど招待してくれました。あの時話しかけていなければこんなに仲良くなることもできなかったかもしれないので、勇気を出して良かったです。また、現地の授業では、たくさんの課題や授業内容の理解など大変なことがたくさんありましたが、自分から行動を起こすことで克服することができました。少しでも勇気をもって行動をすることで全然違っ

た方向に進んでいきます。留学中に苦しいことがあっても勇気を出して行動できたことで、自信を持つことができ、自分の成長にもつながりました。

コロナの影響で緊急帰国することになり悲しかったのですが、モンタナで過ごした時間はとても濃いものでした。モンタナでの思い出を胸にこれからも日々成長していきたいです。



←迷路などを楽しむイベントにて



ロッククライミングのプログラムに参加



留学で培ったこと

外国語学部英米学科4年 おおむら まゆ 大村 真由

【2019年8月～2020年3月
アメリカ・モンタナ州立大学へ交換留学】

私にとって留学は自分の価値観を変え、視野を広げることが出来た貴重な経験です。モンタナに留学して最初の頃は日本との文化の違いに戸惑い、円滑にコミュニケーションが取れず、ストレスを感じる事が多々ありました。しかし、先生や友人に恵まれたお陰ですぐに臨機応変に順応できるようになりました。私は、留学を通して自分を変えたいと強く思っていたので、現地の方と交流する機会を大切にしました。中でも、お年寄りの方々と一緒に水彩画や編み物を嗜んだことは良い思い出です。現地の方々はとても優しく、自分の拙い英語にも真剣に向き合ってくれたので、自分の英語の自信にもつながりました。留学は楽しい思い出だけでなく、辛い思い出もたくさんありました。私は語学学校に通っていましたが、私達が日本で普段

受けていた受動的な授業形式とは違い、ディスカッションを行う機会が多かったです。課題も多く、英語力が低かった私は思うようにディスカッションができず、何度も悔しい思いをしました。しかし、そこで諦めずに挑戦し続けたので、精神面でも自身を成長させることが出来たと思います。

内向的な性格でしたが、留学を通して行動力、発言力などが上がったと感じます。この経験を糧にして、これからも様々なことに挑戦していきたいです。



↑大学のサークルのイベントで行ったイエローストーン



友人が開催してくれた→誕生パーティーにて

私の留学生活

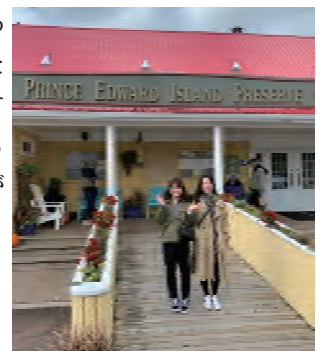
外国語学部英米学科4年 ほしはら ともか 星原 朋華

【2019年8月～2020年3月
カナダ・セント・メアリーズ大学へ交換留学】

ハリファックスで過ごした7か月は、間違いなく私にとって価値のあるものでした。留学する前は、正直不安というより楽しみな気持ちの方が強かったです。しかし、いざカナダで過ごしてみると、自分の英語に不甲斐なさを感じたり、慣れない環境での寮生活にストレスを感じたりなど、私の思い描いていた留学生活とは、かけ離れていました。けれど、その理想と現実のギャップを痛感したことも、そのような状況を打破するために、自分で考え行動に移したことも、私にとっては日本で経験しなかったことだったので、非常に刺激的な経験になりました。

私が留学を通して学んだことは、思い立ったらすぐ行動することです。勉強したいと思ったらする、友達と遊びたいと思ったらすぐ誘う。そんな些細な事でもすぐ行動に移すことです。なぜなら交換留学は、現地の学生と比べて時間が限られているからで

す。私はコロナウイルスの影響で早期帰国となってしまいました。当時は、まだ時間があるからと思い、友人からの誘いを断ったりすることがありました。けれど、急に学校が閉鎖になり、友人に会うことができなくなりました。今回の留学で感じたことは、人生に何が起こるかわかりません。限られた時間を有意義に過ごすために、思い立ったらすぐに行動することが大切だと感じました。



韓国人の友人との旅行→(筆者は左)



サークルの友人とのダートマス旅行



たくさん自分から働きかけたイギリス留学

外国語学部英米学科4年 ^{ひらかわ ゆき} 平川 裕樹

【2019年9月～2020年3月
イギリス・セントラル・ランカシャー大学へ交換留学】

中学生の頃からの夢であった海外留学をイギリスでかなえることができ、一生のかけがえのない宝物になりました。言語も文化も日本とは全く異なり全てが新しく、毎日が新鮮でした。

しかし楽しい事ばかりではなくきついこともありました。文化の違いによるストレス、言いたいことを思うように伝えられないもどかしさ、自分の英語力の無さによる自己嫌悪等で最初は苦しみました。しかし、このままネガティブな考え方ではせっかくの留学生活を無駄にしてしまうと感じ、最初にルームメイトと過ごす時間を多くするようにしました。私の英語が流ちょうでなくても全然嫌がることなく普通に話してくれてとても親切でした。時間が経つにつれて段々と話せるようになり、半年経った頃から日常会話レベルまで上げることができました。自信がついた私は大学の友達と積極的に出かけたり、交流の機会にできるだけ多く参加したりすることで

様々な国籍の友達を持つことが出来ました。熊本にいた頃は文法や英単語など机に向かってする勉強法をメインにしていたのですが、思ったように点数を上げることが出来ませんでした。イギリスでは積極的に友達と交流したりたくさん話したりなど実践的に勉強をしたことで効率的に英語力をあげることができ、より効果的でした。

この留学では積極的に自分から働きかけること、目標に向かって実践的に地道に努力を続けること、人と人のつながりの大切さを学びました。この思いを忘れず今後も挑戦する姿勢を保ちたいと思います。



←たくさんの時間を一緒に過ごしたクラスメイト（筆者は左列奥から二番目）



→語学学校で一緒に学んだメンバー（筆者は前列中央）

目標を叶えられた留学生活

外国語学部東アジア学科4年 ^{とくやま ゆか} 徳山 由佳

【2019年3月～2020年2月
韓国・大田大学校へ交換留学】

私は、母が韓国人ということもあり、小さい頃から韓国に触れて育ちました。しかし、大学に入るまで韓国語の勉強は一切しておらず、親戚と話すことにもとても苦労していました。このままでは嫌だと思い、大学で専門的に勉強しようと決意し、東アジア学科に入学しました。最初はただ勉強がしたかったので、留学には興味もありませんでした。そんな中、他でもない母の勧めで留学に行くことを考え決意しました。

留学生活が始まると、戸惑いは少なかったものの、外国で生活することの大変さを感じました。全て韓国語での授業、関わったことのない国の人達と一緒に受ける授業で何度も自分の語学力の低さに落ち込むことがありました。しかし、向こうで出来た友人や、日文科の学生との交流、楽しさの方が次第に勝っていきました。また、何よりも嬉しかったのは、今まで話すことに苦労していた親戚と自分の言葉で話

すことが出来た瞬間でした。

自分の語学力に落ち込むこともありましたが、向こうで学べたことはとても多かったです。後悔するどころか、行って良かったとしか思っていない。私が韓国語を勉強したいと思ったときの目標が叶い、韓国人の友人もできた留学生活。こんなに幸せで、貴重な体験はずっと忘れたいと思います。もしもこれを読んでいる人の中で留学に行こうか迷っている人は、怖がらずに是非一歩踏み出してください。きっと、楽しく成長することができ、自分にとって良い経験になると思います。

授業で行った→映画のロケ地



←修了式にて中国人の友達と（筆者は左）



かけがえのない日々

外国語学部東アジア学科 令和元年度卒業 ^{ほんだ} ^{はるひ} **本田 桜陽**

【2019年3月～2020年2月
韓国・大田大学校へ交換留学】

高校生の時に友達と、大学生になったら留学しようという約束をして、4年が経ち、ずっと夢だった韓国留学をすることができました。その時約束をした友達もみんなそれぞれの国に留学して夢を叶えました。

留学に行っても良かった一番に思えることは、大切な仲間ができたことです。旅行や遊びに誘ってくれた韓国人の友達の存在も大きく、一緒に生活して苦楽を共にした11人の日本人留学生は友達以上家族未満の特別な存在です。留学中に会った全ての人たちと、今この時に留学していなければ一生会えることはなかったと思うと、自分の選択は間違っていなかったと胸を張って言えます。

学校生活として最も刺激的だったのは、語学堂で過ごした半年間です。私は昔から海外への関心が高かったため、新しい発見の連続で、ベトナム・中国・ロシア・韓国とそれぞれの国の文化、生活や考えなどを知ることができ、毎日の授業が面白かったです。ここでは韓国語でコミュニケーションをとる楽しさ

や、間違いを恐れず自信を持って話すことを学びました。

留学で得た経験と思い出はどれもかけがえのないものだと思います。日本人研修生のスタッフや高校生との交流実習、フェアトレードサークルの活動にトーキングクラブ、MT等貴重な経験をする事ができました。今はコロナで大変な時期ですが、また気軽に海外に行ける日が来たら、一番に大田に行きたいです。



←日帰り全州旅行
(筆者は前列左端)

修了式にてアメリカとロシアの→
友達と (筆者は中央)



←毎月恒例日本人留学生
チキンパーティー
(筆者は左列二番目)

私の留学の成果

外国語学部東アジア学科4年 ^{よしごと} ^{あさこ} **吉里 阿佐子**

【2019年3月～2020年2月
中国・深圳大学へ交換留学】

私は高校生の時から「留学」に憧れていました。留学が確定し、憧れが具現化することが楽しみで仕方なかったです。しかし、あまり中国語が話せない状態で始まった留学生活は楽しいスタートとは言い切れなかったです。この時憧れと現実とのギャップと語学力が足りない事にネガティブな感情ばかり抱いていました。しかし、そんな感情から抜け出すことが出来たのは友達のお陰です。一緒に出かけたり、互いに完璧ではない言葉で様々な話題について話をしたりするのは刺激的で、毎日楽しい時間を過ごす事が出来ました。そして、いろんな価値観を与えてくれました。自分が持っている価値観に固執するのではなく、そんな考え方、見方もあるんだと柔軟になることで更に交流を深めることが出来たのではないかと感じます。大切な友達と出会えたことが私の留学の成果だと思います。

2020年の初頭から新型コロナウイルス感染症の

ニュースが中国国内で話題となっていました。私が帰国する際深圳ではまだ感染者が出ていなかったため特に気にしていませんでした。友達と深圳で再会する予定でしたが今はまだ厳しい状況にあります。コロナが落ち着いてまた再会できることを心待ちにしています。

仲良かった→
グループと
の一枚
(筆者は右列
の一番奥)



←日本人留学生との忘
年会
(筆者は右から二番目)

仲良しメンバーと→
(筆者は中央)





言語以外にも学んだこと

外国語学部東アジア学科4年 ^{たやま} 田山 ^{ふうも} 楓望

【2019年9月～2020年3月
台湾・崑山科技大学へ交換留学】

新型コロナウイルスの影響で私の留学期間は半年になってしまいました。しかし、私は崑山科技大学での留学はとてもいい経験だったと思っています。台湾に行くことは初めてではありませんでしたが、生活する上で分からないことが沢山ありました。台湾に着いたばかりのときは、最初から分からないことが多かったです。バスは何番に乗ればいいのか、授業の履修登録はどのようにすればいいのかなど分からないことだらけでした。しかし、留学先の学生たちがいつも助けてくれました。私が台湾に到着したばかりのときに一番困ったことは、携帯のネットが使えなかったことです。ネットが使えなければ誰とも連絡はできませんし、調べたいことがあっても調べられない状態にありました。しかし、これをク

ラスメイトに相談するとどの会社がいちばん安い値段でネットが使えるのかなど一緒に探してくれました。おかげで、ネットも使えるようになりました。これは私の中でとても思い出深い経験の一つです。留学して沢山のことを学びましたが、私はこの経験により助けてもらうことの大切さを感じました。



みんなと撮った一枚（筆者は後列中央）

短期認定留学体験記

英語が苦手でも留学しました。

社会福祉学部第一部社会福祉学科2年 ^{たなか} 田中 ^{みよ} 美世

【2020年2月29日～3月22日
ハワイ大学マノア校アウトリーチカレッジへ短期認定留学】

留学先ではクラス分けが行われ、同じクラスになった人とは毎日共に過ごしました。学校がある平日の午前中だけではなく、放課後や土曜日、日曜日にも共に過ごしました。

留学先で出会った新たな友達には様々な場面で、助けてもらいました。それは、授業で分からないところやバスの乗り降り、ランチの注文、その他にもハプニングなど、留学中の心の支えになりました。

私は、英語が得意ではなく、苦手意識さえありました。しかし、友達の手助けがあったり、ときにはスマートフォンを使ったりして、留学生活を送ることができました。完璧な文法や発音をできていなくても、伝えたいという思いを前面に出して話しかければ、現地の人は耳を傾けてくださり、理解してく

ださることを知りました。だから、私はどんなに自信がなくても、現地の人と会話することを意識しました。バスに乗っているときは、同じ乗客の人と話したり、最後の乗客になったときには、運転手の人と話したりしました。会話する場所は、もちろんバス以外でもありましたが、時間さえあれば、通りすがりの人と会話しました。現地の人は話しかけて

くださることも多く、沢山会話できました。



↑最後の乗客になり、バスの運転手に話しかけた時



↑授業開始後のキャンパスで



←新たな友達と



失敗を恐れずに挑戦することの大切さ

商学部商学科3年 ^{ながみぞ}永溝 ^{かなめ}叶夢

【2020年2月21日～3月21日
ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学へ短期認定留学】

私は、新型コロナウイルスが日本でも流行し始めた2月下旬から4週間、NZのクライストチャーチへ留学しました。前年の夏にはイギリスへのサマープログラムにも参加しましたが、日本語を使う機会が多くなってしまったので、ホームステイで必然的に英語を話す環境に身を置く、この短期認定留学への参加を決意しました。

4週間の留学を通して感じたことは、「失敗を恐れずにまずは話してみる大切さ」です。自分の英語が通じるのか、この単語、文法でよいのかななどの不安はありましたが、ホストファミリーはもちろん、先生方や他の国の学生もみんなしっかりと私の英語を聞き、理解しようとしてくれました。そのおかげで、帰国する際には積極的に自分から話しかけられるようになりました。また、ホストファミリー

は私と積極的に関わってくれて、日常生活では夕食後に散歩をして、近所の方の家にお邪魔して多くの人と話す機会を作ってくれたり、ある休日には片道6時間の所までドライブをして、船に1泊する旅行に連れて行ってくれたりもしました。今回の留学ではたくさんの刺激を受けて成長できたので、これからもいろんなことに積極的に挑戦して成長したいと思いました。



←クイーンズタウンへ旅行に行ったとき



ホストファミリーの→船にて

初めての留学

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科3年 ^{とくなが}徳永 のぞみ

【2020年2月13日～3月19日
ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学へ短期認定留学】

私にとってホームステイは特に良い経験だったと思います。知らない人の家で生活するなんて生まれて初めてで、緊張していました。ホストマザーはフレンドリーですぐに打ち解けられました。家ではとにかくたくさん会話をして、ネイティブが使う表現を状況と合わせて学ぶ事ができました。英語が理解できなかった時も、ごまかさずに積極的に質問するよう意識しました。文化の違いでお互いの言いたいことが通じないこともありましたが、それも勉強になりました。

日本で新型コロナウイルス感染症が流行りだした頃の留学だったので、アジア人差別などの不安もありました。しかし、実際はそんな心配はいらないほど親切な人ばかりでした。ニュージーランドの人たちはよく微笑みます。店員さんやバスドライバーも

ニコニコしていて明るく話しかけてくれます。素敵なホスピタリティだと感じました。

私は英語を話す感覚を身につけたくて、留学を決意しました。そして、1ヶ月間英語ばかりの環境で頭をフル回転させることで、日々の小さな成長を感じることができました。英語を使うことが当たり前だという感覚を忘れず、また留学にチャレンジしたいです。



←チキン屋の店員さんと(筆者は左)



↑お気に入りのクッキー屋さん



←語学学校の友達と(筆者は右端)



クライストチャーチでの1ヶ月間

外国語学部英米学科2年 ながおか くるみ
長岡 胡桃

[2020年2月14日～3月18日
ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学へ短期認定留学]

私にとって1ヶ月という期間海外に滞在したのは、生まれて初めての経験だった。

この短期留学では何か新しいことを学ぼうと思い、通常のクラスとは異なる「IELTS 対策クラス」を受けることにした。私は特に4技能の中でスピーキングが苦手で、最初はまわりについていくのに必死だった。これは間違えた英語を話すことを恥ずかしいことだと考えていたからだ。そこで私はこの苦手を克服し、クラスについていけるようにするためにホストファミリーと一緒に映画を見て感想を言ったり、様々な観光地に行ってコミュニケーションを多くとるように努めた。その成果もあってかクラスの終わりごろには、完全とは言えないが最初とは比べ物にならないほど、スピーキングはもちろん他の3技能も上達した。

クラス外のアクティビティでは同じ大学からの派遣生と一緒に大学の週末のプログラムで温泉プール

に行ったり、街に買い物に行ったり、海や街並みを見たりしてクライストチャーチを楽しんだ。また、ホストファミリーとは家の庭で夜ご飯を食べたり、近くの公園まで散歩したり、ホストファミリーの孫と料理を楽しんだりした。

クライストチャーチでは一日一日がとても充実した留学生活を送れた。私はこの短期留学に参加できて本当に良かったと感じている。

ホストマザーとの一枚→



Hanmer Springsの温水プール (筆者は左端)



初めての海外

外国語学部英米学科4年 たさき るい
田崎 瑠唯

[2020年2月7日～3月9日
ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学へ短期認定留学]

留学を決めるまで僕は悩んでいました。サークル活動や友人との付き合いはずっと楽しんできましたが、インターンなど大学生らしい活動をやっていなかったからです。英米学科に所属している以上、何か海外に触れる経験をしたとは思っていたのですが、果たしてこれまで自分が培ってきた英語がしっかりと伝わるかとても不安に思っていました。しかし高校の時の担任の先生が熊本学園大学の英米学科出身で留学経験もあり、高校を卒業する際「留学は絶対にやったほうがいい」という言葉を思い出し、短期でしたがニュージーランドへの留学を決めました。

成田空港からオークランド国際空港に降り立ったときは初めての海外の空気を味わい興奮しました。空港ではホストファミリーの家まで送るために案内役の人が出迎えてくれましたが、その方と初めて海外で英会話を行った時自分の英語がしっかりと伝わったので、とても自信が湧きました。ホストファミ

リーとの会話では、分からない単語やうまく英語で話せなかった所は、僕の言いたいことを理解しようと熱心に聞いてくれました。学校生活も自分たちのレベルに合ったクラスに分けてくれてクラスメイトと楽しく授業を受けることができました。日常生活ではセントラル街へ出かけて観光やアイスクリームなどおいしいものを食べ歩いたりビーチに出かけたりと様々なアクティビティーを楽しみ、ホストファミリーの紹介で彫刻品の一つ作るなどもしました。

留学最後にはまたニュージーランドへ行きたい、他の国へも行ってみたいと大きく自信を持つことができました。留学をして良かったと心から感じています。



↑クラスメイトと (筆者は右端)



↑作った彫刻と自分



レジデント・アシスタントとしての1年間

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科2年 ^{うら}浦 ちさと
 [2019年9月～2020年8月
 国際交流会館にレジデント・アシスタントとして入居]

2019年の9月から一年間、国際交流会館でレジデント・アシスタントとして、実際に留学生と生活を共にしました。日本に来たばかりの留学生とコミュニケーションをとることは簡単ではありませんでしたが、同じ空間で一緒に過ごしたり、買い物に行ったりご飯を作って食べたりしていくうちに、言語を超えて、同じ寮に住む仲間として仲を深めることができました。半期に一度、交換留学を終えて帰って行く留学生を見送るのは、とても寂しかったです。また日本に来るねと笑顔で手を振り返してくれたことが、今でも心に深く残っています。それぞれ違う国の文化を持っているからこそ、分かりあえないことがあったりぶつかったりすることもありました。しかし、最後には私も含めそれぞれがお互いの文化を理解し合い、助け合って成長することができたように思います。

今年度はコロナウィルスの影響で、例年のようにみんなで出かけられないなど、思うようにサポートできないこともありましたが、今回の経験を活かし、これからも学園大に来た留学生のサポートを続けていければと思います。

帰国する留学生と→



留学生を見送るパーティーで↓



国際交流会館のいま

2020年度秋学期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、交換留学生の受入れができず会館は半年間の閉館となりました。閉館は会館が1998年にオープンしてから初めてのことで、過去20年以上に亘り留学生を絶えず受入れてきた会館は長年の溜まった汚れや老朽化により傷んだ箇所が多く、クリーニングや修繕できるまたとない機会となりました。管財課と連携し、全32室および1・2階共有施設のクリーニング及び修繕を行いましたので一部ご報告します。

1階共有キッチン壁



各ユニットシャワールーム扉



国際交流会館職員 原 伸一さんから一言



今年には交換留学生の受入れがなく寂しい一年でしたが、新しい交換留学生を迎えるために会館を隅々まできれいにしました。留学生のみなさんの来日を心よりお待ちしております！また日本人学生の皆さん、会館が再びにぎやかになったら是非遊びに来てください。



学園大で学ぶ私費外国人留学生を紹介します。

今年4月に11名の私費外国人留学生を迎えました。熊本県内の日本語学校からだけではなく、福岡や東京の日本語学校からの入学もありました。

国際教育課では、福岡や久留米で毎年6回開催される「留学生進学ガイダンス」や、年に1度熊本で開催される大学コンソーシアム熊本主催の「学モン都市クマモトツアー」に入試課と共に参加し、大学及び大学院進学を目指す留学生に熊本学園大学を紹介する活動を続けています。



↑学モン都市クマモト オンライン進学相談会
(10/18 本学留学生ルームにて)



↑留学生進学ガイダンスの様子
(11/30 福岡天神にて)



～ 新入生からの一言 ～

オープンキャンパスで熊本学園大学のことを知りました。多彩なサークル活動や西日本有数の図書館もあるし、アクセスもいいし、熊学で楽しい大学生活を送られると思いました。これがきっかけで、熊本学園大学を選びました。

九州有数の文系総合大学として5学部11学科が1つのキャンパスに集結。商学、経済学、外国語、社会福祉の分野もちろん、幅広い学問領域で多様な価値観に出会えます。今商学科で経営や流通などの理論を勉強することで、将来自分で起業できるようになりたいです。

商学部商学科 (2020年4月入学) **華 棋 涛**
出身校 九州英数学館 (福岡県)

～ 新入生からの一言 ～

熊本学園大学商学部ホスピタリティ・マネジメント学科に在籍しています。熊本学園大学を選んだ理由は、高校時代の夏休みに見学に来たことがきっかけです。私の親戚はかつて熊本学園大学で勉強したことがあります。彼は私にここで学ぶことを勧めてくれました。ですから、熊本学園大学に憧れもあり、進学先を選びました。将来の目標は機会があれば、日本の大企業に勤めたいです。日本企業の文化と規則制度を勉強したいです。あるいは日本で中国との貿易会社を作って、日本のお土産を中国に持っていき、日本の歴史と文化をもっと多くの中国人に理解してもらいたい体験してもらいたいです。



おう げんはく
王 源 璞

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 (2020年4月入学)
出身校 西日本国際教育学院 (福岡県)

令和2(2020)年 海外往来実績及びコロナ禍での国際交流の動き

| 月 | 派遣 | 受入 |
|-----|--|---|
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国（韓国・大田大学校 [5名]、中国・深圳大学 [2名]、北京外国語大学 [1名]） ※令和2年度春派遣交換留学生中国派遣1名2月出発見送り ※令和2年度中国への交換教員派遣2月出発見送り | <ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換留学生の帰国（中国・深圳大学 [1名]） |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ■短期認定留学生の出発（NZ・クライストチャーチ工科大学 [10名]、アメリカ・ハワイ大学マノア校アウトリーチカレッジ [2名]） ■派遣交換留学生の出発（韓国・大田大学校 [6名]、全南大学校 [1名]） ■インド・セイクリッドハート大学訪問（国際交流委員長一行 2/16～2/22） ※令和2年度春派遣交換留学生中国派遣1名延期の決定 ※令和2年度春派遣交換留学生韓国派遣の7名に対し緊急帰国命令発令 | <ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換留学生の帰国（オーストラリア・ラトロープ大学 [1名]、韓国・大田大学校 [1名]、中国・深圳大学 [1名]、北京第二外国語学院 [1名]、台湾・崑山科技大学 [1名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]、ドイツ・ハインリッヒ・ハイネ大学 [1名]） ■受入れ交換教員の帰国（大田大学校・金眞會先生（2/26）、深圳大学・吳遵杰先生（2/25）） |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ■派遣交換留学生の帰国（アメリカ・モンタナ州立大学 [2名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [2名]、英国・セントラル・ランカシャー大学 [1名]、韓国・大田大学校 [6名]、全南大学校 [1名]、台湾・崑山科技大学 [1名]） ■短期認定留学生の帰国（NZ・クライストチャーチ工科大学 [10名]、アメリカ・ハワイ大学マノア校アウトリーチカレッジ [2名]） ※令和元年度派遣交換留学生（4カ国・地域5名）へ早期帰国要請発令 ※令和元年度短期認定留学生（2カ国・地域2名）へ早期帰国要請発令 | <ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換留学生の帰国（米国・インカーネットワード大学 [1名]） |
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度春派遣交換留学生派遣延期 ※令和2年度海外就業体験プログラムの中止 ※令和2年度中国への交換教員派遣延期 ※外国語学部長期海外研修・海外インターシップ派遣中止 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度春学期受入れ交換留学生3カ国・地域8名の受入れ延期 ※商学部令和2年度春学期受入れ予定1名の学部研究留学生（中国）受入れ延期 ※令和2年度韓国・大田大学校からの交換教員受入れ延期 ※令和2年度短期研修団受入れプログラム中止 |
| 5月 | | |
| 6月 | | |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度秋派遣交換留学生派遣延期 ※令和2年度サマープログラム（イギリスコース）中止 ※令和2年度短期認定留学の中止 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度秋学期受入れ予定8カ国・地域13名の交換留学生の受入れ中止 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ※学生自治会及び学翔学会韓国への訪問中止 ※経済学部国際インターン実習派遣中止 ※外国語学部英米海外研修派遣中止 ※外国語学部韓国及び中国（台湾）海外研修派遣中止 ※日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習（ニュージーランド）派遣中止 | <ul style="list-style-type: none"> ■受入れ交換留学生の帰国（カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]、英国・セントラル・ランカシャー大学 [1名]、中国・広西民族大学相思湖学院 [3名]） |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度中国への交換教員派遣中止 ※経済学部国際研修派遣中止 ※外国語学部長期海外研修・海外インターシップ派遣中止 ※日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習（韓国）派遣中止 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度韓国・大田大学校からの交換教員受入れ延期 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ※日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習（台湾）派遣中止 ※社会福祉学部令和2年度ドイツ派遣交換留学生派遣延期 | <ul style="list-style-type: none"> ※商学部令和2年度秋学期受入れ予定1名の学部研究留学生（中国）の受入れ中止 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和3年度韓国への交換教員の派遣中止 | <ul style="list-style-type: none"> ■招へい教授デビス・セバスチャン氏の来学（11/27） |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ※令和2年度交換留学生の韓国派遣中止 ※令和2年度交換留学生の英語圏及び中国語圏派遣延期 | |



令和 2 (2020) 年度 研修団往来

| 受入 | 研修団名 | 研修期間 | 期間 | 団員数 |
|----|------|------|----|-----|
| | なし | | | |

| 派遣 | 研修団名 | 研修期間 | 期間 | 研修・派遣先 | 団員数 |
|----|------|------|----|--------|-----|
| | なし | | | | |

海外への派遣学生数

| | 派遣先大学名 | 令和 2 (2020) 年度 | | | | 令和元 (2019) 年度まで | | | | | |
|----------|--------------------------|----------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|------|
| | | 交換1年 | 交換1学期 ⁴ | 短期認定 ³ | サマーP ² | 交換1年 | 交換1学期 ⁴ | 短期認定 ³ | サマーP ² | HSP ¹ | 短期派遣 |
| アメリカ | モンタナ州立大学 | | | | | 77 | | | | | 25 |
| | モンタナ大学 | | | | | 21 | | | | | |
| | キャロル大学 | | | | | 29 | | | | | 22 |
| | ロッキーマウンテン大学 | | | | | | | | | | 4 |
| | インカーネットワード大学 | | | | | 35 | | | | | |
| | アワーレティオブザレイク大学 (熊本市交流事業) | | | | | 7 | | | | | |
| | ウイスコンシン大学オークレア校 | | | | | 10 | 9 | | | | |
| | ハワイ大学アウトリーチカレッジ | | | | | | | 2 | | | |
| カナダ | セント・メアリーズ大学 | | | | | 35 | 2 | | | | |
| | カールトン大学 | | | | | 10 | | | | | |
| イギリス | リバプールジョンモーズ大学 | | | | | 41 | 11 | | | | 91 |
| | アルスター大学 | | | | | 8 | | | | | 19 |
| | セントラル・ランカシャー大学 | | | | | 7 | | | 100 | | |
| フランス | リヨン商科大学 | | | | | 2 | | | | | |
| | ボワチエ大学 | | | | | 1 | | | | | |
| ドイツ | ラインランド・プファルツ州立経済大学 | | | | | | | | | | 16 |
| オーストラリア | ラトロープ大学 | | | | | 31 | 5 | | | 124 | |
| ニュージーランド | ユニテック工科大学 | | | | | 28 | 8 | | 22 | 103 | 14 |
| | クライストチャーチポリテクニク工科大学 | | | | | 1 | | 23 | | | |
| フィリピン | アテネオ・デ・マニラ大学 | | | | | | | | | | |
| 韓国 | 大田大学校 | | | | | 97 | | | | | |
| | 全南大学校 | | | | | 2 | 3 | | | | |
| 中国語圏 | 深圳大学 | | | | | 61 | | | | | |
| | 中国人民大学 | | | | | 8 | | | | | |
| | 北京外国語大学 | | | | | 14 | | | | | |
| | 北京語言大学 | | | | | 11 | | | | | |
| | 北京第二外国語学院 | | | | | 12 | | | | | |
| | 広西師範大学 (熊本市交流事業) | | | | | 9 | | | | | |
| | 崑山科技大学 | | | | | 4 | | | | | |
| | 高雄科技大学 | | | | | | | | | | |
| ベトナム | ベトナム国家大学ハノイ校 | | | | | 9 | | | | | |
| タイ | チュラロンコン大学 | | | | | 4 | | | | | |
| | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 574 | 38 | 25 | 122 | 227 | 191 |

※ 網掛けの協定校は、現在交流を行っていない大学
 ※ 短期派遣留学 (2ヶ月派遣) は、平成 18 年度をもって終了
 ※ 短期交換留学は、令和元年度をもって終了
 ※ 短期語学ホームステイプログラムは、平成 24 年度をもって終了
 ※ サマープログラム (1ヶ月派遣) は、平成 25 年度開始
 ※ 短期認定留学は、平成 28 年度開始

*1: 短期語学ホームステイプログラム
 *2: サマープログラム
 *3: 短期認定留学
 *4: 交換 1 学期 (短期交換留学を含む)



令和2(2020)年度 出身国・地域別外国人留学生数

春学期

令和2(2020)年5月1日現在

| 国 (国・地域名) | 学部学生 | | | | | 研究生 | | | 大学院生 | | | | | 留交 学生換 | 合計 | |
|--------------|------|----|---|---------|----|-----|---|---|------|----------|----|----|----------|-----------|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 以上 | 計 | 学部 | 院 | 計 | 修1 | 修2 以上 | 博1 | 博2 | 博3 以上 | | | 計 |
| 中国 | 10 | 9 | 2 | 3 | 24 | | | 0 | 1 | 5 | | | 2 | 8 | 3 | 35 |
| 韓国 | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 2 |
| タイ | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| カナダ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| イギリス | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| オランダ | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 10 | 10 | 4 | 4 | 28 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 2 | 8 | 5 | 41 |

※「留学」の在留資格を持っている学生のみ。

[6カ国・地域 41名]

秋学期

令和2(2020)年10月1日現在

| 国 (国・地域名) | 学部学生 | | | | | 研究生 | | | 大学院生 | | | | | 留交 学生換 | 合計 | |
|--------------|------|----|---|---------|----|-----|---|---|------|----------|----|----|----------|-----------|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 以上 | 計 | 学部 | 院 | 計 | 修1 | 修2 以上 | 博1 | 博2 | 博3 以上 | | | 計 |
| 中国 | 10 | 9 | 2 | 2 | 23 | | | | 1 | 5 | | | 2 | 8 | | 31 |
| 韓国 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| タイ | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| オランダ | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 10 | 10 | 3 | 3 | 26 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 2 | 8 | 0 | 34 |

※「留学」の在留資格を持っている学生のみ。

[4カ国・地域 34名]

令和2(2020)年度 留学生の主な参加行事

| 名称 | 主催 | 内容 | 期日 |
|--------------------------|-----------------------|---|--|
| 新入留学生オリエンテーション | 熊本学園大学国際教育課 | ・履修指導及び大学生活全般に係る説明 ・在留資格等行政手続に関する説明等 | 4月10日(金) |
| 久留米ゼミナールの留学生とのオンライン大学説明会 | 久留米ゼミナール | 熊本学園大学の紹介と入試に関する説明 および本学私費留学生との交流 | 7月6日(月) |
| 交換留学生修了証書授与式 | 熊本学園大学国際教育課 | 交換留学生5名の修了証書授与及び歓談 | 7月29日(水) |
| コラボカフェ 『留学生と話そう・タイ編』 | 熊本市国際交流振興事業団 (KIF) | タイの文化や風習を紹介する | 11月28日(土) |
| 熊本県留学生日本語作文コンクール | 熊本県日中協会 | テーマに沿って作文する (熊本に思うこと、自国の文化、将来の夢等) | 募集期間 11月16日(月) ～ 12月25日(金) 結果発表 令和3年 2月2日(火) |

国際交流委員会メンバー

(2020年4月～)

| | |
|--------|-------------------------------|
| 委員長 | 向井 洋子 |
| 商学部 | 石貫 文子 |
| 経済学部 | 嶋 理人 |
| 外国語学部 | ジョセフ・トウメイ |
| 社会福祉学部 | 松本 勝明 |
| 大学院 | 角田 幸太郎 |
| 国際教育課 | 喜佐田 智子(9月まで) 切通 しのぶ(10月から) |

国際教育課スタッフ

(2020年4月～)

| | |
|--------|---------------------------------|
| 課長 | 喜佐田 智子(9月まで) 切通 しのぶ(10月から) |
| 係長 | 大澤 孝(9月まで) 北原 かおり |
| | 角田 あかね(10月から) 古家 由美子 林 嫻嫻 |
| 国際交流会館 | 原 伸一 |



熊本学園大学

KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号

TEL 096-364-5161(代)

FAX 096-372-4112

[ホームページ] <http://www.kumagaku.ac.jp/office/kokko>

[facebook] <https://www.facebook.com/kumagakukokko>

【 国際教育課 】



HP



instagram



Facebook

学校法人 熊本学園

熊本学園大学・大学院 | 熊本学園大学附属高等学校

熊本学園大学附属中学校 | 熊本学園大学附属敬愛幼稚園

熊本学園大学 国際交流レター 2020 vol.42
編集・発行 熊本学園大学国際教育課
発行日 令和3(2021)年3月